

岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター
FAMS生産科学セミナー 「放射線の基礎と畜産への影響」

I. 目 的

東北地方太平洋沖地震により発生した福島第一原子力発電所の事故は、東北地方の畜産にも大きな影を落としています。特に環境中に放出された放射性セシウムは約 30 年という長い半減期を持ち、長期間にわたって土壌から植物、さらに家畜の体内へと移行し、動物性食品の安全と安心を確保する上で大きな問題となっています。しかし、事故から1年半が過ぎ、放射性物質の吸収抑制に関する研究成果も出始めております。そこで本研修会では、放射線に関する基礎知識を講義するとともに、自然放射線や放射性セシウムの測定実習や、土壌・飼料作物・畜産物の間の放射線物質の移行や放射性物質による汚染の低減技術に関する講演を行います。これらの研修をとおして、どのようにして畜産物の放射性物質汚染に対処していくべきかを考えていきたいと思っております。

II. 研修内容

1. 放射線の基礎（講義）
2. 放射線からの防御（講義）
3. 放射線の特徴（実習）
4. 霧箱を使った放射線の観察（実習）
5. 飼料中のセシウム放射線の測定（実習）
6. 放射性核種の土壌中での挙動、土壌から植物への移行、および家畜への移行（講演）
7. 飼料作物における放射性セシウムの低減技術の開発（講演）
8. 泌乳牛におけるゼオライトとベントナイトの放射性セシウム吸収抑制効果（講演）

III. 開催日時・会場

- (1) 日時 : 平成24年11月7日(水) 9時30分～18時
- (2) 会場 : 岩手大学農学部3号館 3号会議室(2階)、動物機能学実習室(2)(3階)

IV. 参加募集人員

10名程度

V. 参加対象者

畜産従事者、農業普及員、産業動物獣医師、公共機関等研究員、畜産に関心のある方（特に専門分野は問いません）

VI. 受講料

- 5,000円(資料代)
※当日受付にて申し受けます。
※情報交換会に参加される方は、別途、交換会への参加費(3,500円)が必要になります。

VII. 申込方法

別紙申込書にご記入の上、FAXまたはメールにてお申し込み下さい。

VIII. 申し込み締め切り

平成24年11月2日(金)

<p>連絡先 : 〒020-8550 盛岡市上田 3-18-8 岩手大学農学部学部地域連携推進室 担当 : 伊藤洋美 TEL : 019-621-6108 FAX : 019-621-6107 E-mail : fams@iwate-u.ac.jp 内容問い合わせ先 : 岩手大学農学部動物科学課程 喜多一美 E-mail : kitak@iwate-u.ac.jp</p>
